

こどもの声 どう聴いたらいいの？

哲学対話から学ぶ こどもとの関係づくり



相手の考え方を受け入れながら、一緒に考え発言していく「哲学対話」。
そのポイントを学ぶことで、子どもが思っているコトや意見を聞くための関わり方を考え、
子どもに関わる仕事や活動のなかで、子どもの主体性を大切にしながら対話を深めるきっかけとします。
実際に哲学対話をすることで、悩みごとや困りごとを解決するヒントを探りませんか？

▷ 日 時 令和6年9月20日（金） 19:00～21:00

▷ 会 場 荒川区役所3階 304・305会議室
(荒川区荒川2-2-3)

▷ 申込期間 8月21日（水）9:00～（定員に到達次第 受付終了）

▷ 対 象 荒川区でこどもに関わる活動をしている方 30名（申込順）

▷ 講 師 特定非営利活動法人こども哲学・おとな哲学 アーダコーダ

代表理事 角田 将太郎 氏

講師プロフィール

1995年生まれ。千葉県出身。
東京大学大学院総合文化研究科修士課程在籍。
哲学対話の実践と研究を往復しながら、互いに配慮し合い
ながら共に考える場をつくる方法について探究している。
様々な学校や企業、自治体で講師として登壇。
こども家庭庁の進める「こども・若者意見反映推進のための
調査研究」において、有識者・ファシリテーターとして関わる。



問合せ先 荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課

電 話:03-3802-4575

メール:manabi.entry@city.arakawa.tokyo.jp



お申込みは
こちらから！